

社会福祉法人 東京有隣会

有隣

YURIN

2022.11

(令和4年)



東京有隣会建築ニュース



秩父宮妃殿下お手植えの大王松

病院の建替え工事のため、移植されました。



高松宮殿下お手植えの五葉松

病院の建替え工事のため、移植されました。



本格的な工事が始まり、病院本体の解体工事が始まりました。



新棟完成までの間、外来管理棟で病院の診療を開始しました。

有隣病院

避難訓練及び消火訓練

有隣病院では、避難訓練及び消火訓練を年2回以上実施しています。

9月30日には、夜間帯を想定した避難訓練を実施しました。

日毎寒くなり、より一層感染予防に努めなければいけない時期となってきましたが、同様に注意しなければいけないのが「火災」です。

避難訓練では、夜間帯は各病棟職員が3〜4名となり避難誘導が困難であることから、どうしても1病棟約50名の入院患者さんを避難させることができるか等について訓練を通じて確認を行い、職員間で認識を共有しました。

また、初期消火のタイミングや消火器具の設置場所、使い方についても再確認しました。今後も、災害時の対策や日常の備えについて意識を高め、入院患者さん、職員の安全を守るよう努めてまいります。



嚥下障害に対するリハビリテーション

当院の回復期病棟では、脳卒中や神経疾患、内部疾患による廃用症候群の患者さんのなかで、嚥下障害を伴う方に対しては積極的に嚥下訓練を行っております。

ただし、ひとくちに嚥下障害といっても患者さんごとに違いがありますから、まずはその評価が重要になります。

当院では入院された1週間以内に嚥下内視鏡で評価を行い、その時点でのベストスワロー(Best swallow)を目指した訓練を行います。嚥下訓練が軌道にのり誤嚥(肺のほうに食べ物が入ってしまう状態)のリスクが少なくなったら、つぎは嚥下造影検査を行い、嚥下機能や退院後の生活に見合った食形態を検討します。

嚥下内視鏡は、鼻から細いファイバースコープを通してノドを観察する検査です。まず日常的にノドに痰や唾液が溜まりやすいかなどを確認し、つぎに実際に水分や食物を食べてもらいます。口から、ノド、食道へ食物がどのように通過するか、ノドにどの程度残るか、などがよくわかります。また、リハビリテーションで必要な訓練をその場で行い、効果を見ることもできます。

嚥下造影検査は、X線検査で写るようにバリウムを含んだゼリーやとろみ水、お粥などを用いて飲み込みの様子を調べます。口からノド、食道へ食物がどのように通過するかなどがよくわかります。どの部分に通過障害があるか、また、嚥下内視鏡では分かりにくい誤嚥などの様

子もわかります

評価後に行われる嚥下訓練には、食べ物を使用しない間接訓練と、食べ物を使用した直接訓練があります。

間接訓練は、口唇・舌・頬などの口腔機能訓練から、頭部挙上訓練や、呼吸機能訓練、アイスマッサージなど、嚥下にかかわる筋力、感度の向上を図ります。

直接訓練は、頸部から体幹の向き、姿勢を調整し、食形態を選定したうえで実際に経口摂取を行います。さらに自主トレーニングが行える方には、息ごらえ嚥下など誤嚥リスクを少なくする方法を指導します。

入院期間中は以上のような評価、訓練を繰り返して、嚥下機能の向上に努めます。1日の必要エネルギー量を3食経口摂取できるようにすればよいのですが、患者さんによってその目標は様々です。経口摂取はお楽しみ程度とし、経管栄養を併用して退院される方もいらっしゃいます。嚥下機能も身体機能の一部に過ぎません。患者さんの機能障害、活動、退院後の環境、社会参加などを全体的に捉えることがリハビリテーションでは重要です。入院されたら、担当医を含めたスタッフと十分に協議して、目標を設定しましょう。

リハビリテーション科 専門医 兼子尚久



それぞれの施設で敬老会

有隣ホーム

今年の夏も、とても暑い日が続きました。そこで有隣ホームでは「水分補給」に力を入れて取り組みました。手を変え品を変え、機会を増やして水分を飲んでいただいています。「父母はこんな飲み物が好きだった。」などの思い出がありました。是非お知らせください。

暑い中「花火」や「かき氷」の行事も行いました。迫る台風に延期・中止を繰り返しながら皆様に楽しんでいただきました。「暑い」もかき氷の良い隠し味になりました。

9月19日は敬老の日。くす玉を割り、歌を歌って、ケーキを食べて、お祝いさせていただきました。いつもより笑顔の多い一日だったと思います。

気付けば秋の風の奥に「冬」を感じる季節になってきました。11月にはホームの栄養士主催の「なんだかおもしろいな行事」も予定されています。皆様の生活が少しでも豊かになるよう、今後も取り組んでいきます。楽しみにしてください。それでは、また報告させていただきます。



実習の様子



職員による南京玉簾



防災訓練

第2有隣ホームでは定期的に災害対策の一環として地震発生時の緊急時対応訓練(シェイクアウト訓練)を行っています。地震発生時を想定して各部署職員で連携を取りながら災害対応についての確認をしました。ご利用者様にも参加頂いてますよ。

今年も敬老会を開催致しました。皆様のご長寿を心よりお祝い申し上げます。今年度は厨房職員も加わって南京玉簾の余興をさせて頂きました。手拍子や一緒に口ずさんでいる方も楽しんでいただけました。いつまでも健やかに過ごして頂ける様、職員一同努めて参ります。

看護学生の実習で交流を行っていただきました。若さ溢れる実習生達にいつも以上に楽しそうに話されていたご利用者様でしたが、感染対応の為10分間程度と短く少し話し足りない様子も見られました。

第2有隣ホーム

それぞれの施設で敬老会



有隣ケアセンター

9月19日、20日の2日間、有隣ケアセンターでは敬老会を開催しました。365日「敬老」の気持ちを持って仕事をしている私達も、この日は特別な思いで毎年準備しています。

未だコロナ禍で、できることが限られる中、今年も地域のボランティアクラブの子供たちが来所し、ほほえましい寸劇を上演してくれました。感染対策上、近くで触れ合っていたことはできませんでしたが、久しぶりに外部の方々をお迎えできて、利用者の皆様も喜んでいらっしやいました。職員も華麗なるフラガールに扮してフラダンスを披露。そのほかマジックショーや利用者さんによるハーモニカ演奏、最後は恒例のお茶会にて、本格的な抹茶和菓子を味わっていただきました。

来年の敬老会は、コロナが終息した中で開催できますことを願って止みません。



職員によるフラダンス



船橋会避難所運営委員会



船橋希望中学避難所運営委員会
(本部：安松課長の講演)



船橋会避難所運営委員会
(有隣病院地域連携室応急処置の指導)



葭根会避難所運営委員会



地域と共に

船橋地区の3団体
 ・船橋会
 ・船橋4丁目自治会
 ・船橋希望中PTA葭根会
 が主催する避難所運営委員会
 に出席・参加し、地域の防災
 の在り方について、意見交換・
 情報共有を行いました。

心温まる善意に感謝いたします。
 経堂さわやか整骨院……車椅子をご寄贈いただきました。